

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6849884号  
(P6849884)

(45) 発行日 令和3年3月31日 (2021.3.31)

(24) 登録日 令和3年3月9日 (2021.3.9)

(51) Int. Cl.

F I

H O 4 N 1/00 (2006.01)

H O 4 N 1/00 1 2 7 Z

H O 4 N 1/32 (2006.01)

H O 4 N 1/32 1 0 1

G O 6 F 3/12 (2006.01)

G O 6 F 3/12 3 0 7

G O 6 F 3/12 3 7 3

G O 6 F 3/12 3 5 9

請求項の数 9 (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2017-46506 (P2017-46506)  
 (22) 出願日 平成29年3月10日 (2017.3.10)  
 (65) 公開番号 特開2018-152676 (P2018-152676A)  
 (43) 公開日 平成30年9月27日 (2018.9.27)  
 審査請求日 令和2年3月2日 (2020.3.2)

(73) 特許権者 000001007  
 キヤノン株式会社  
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
 (74) 代理人 110003281  
 特許業務法人大塚国際特許事務所  
 (72) 発明者 潤間 一博  
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ  
 ヤノン株式会社内

審査官 野口 俊明

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 画像通信装置、その制御方法、及びプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像通信装置であって、

画像データ、ファクシミリ送信の送信宛先、及びユーザ情報を外部装置から受信する受信手段と、

前記送信宛先に前記画像データのファクシミリ送信を実行する実行手段と、

前記受信手段が前記ユーザ情報を受信する前に、前記ユーザ情報と通知先を対応づけて記憶する記憶手段と、

前記受信手段が受信した前記ユーザ情報に対応する通知先に、前記ファクシミリ送信の送信結果を送信する送信手段を有し、

前記記憶手段は、さらに、前記実行手段によって実行されたファクシミリ送信の送信結果を含む複数の送信履歴を記憶し、

前記送信手段は、前記記憶手段に記憶されている複数の送信履歴のうち、当該ファクシミリ送信のユーザ情報と一致する送信履歴の情報を送信結果として前記通知先に送信することを特徴とする画像通信装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、前記ユーザ情報と前記通知先が前記画像通信装置の操作部を介して指定されることにより、前記ユーザ情報と前記通知先を対応づけて記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の画像通信装置。

【請求項 3】

前記送信手段による前記送信結果の送信を行うか否かを設定する設定手段をさらに備え、

前記送信手段は、前記送信結果の送信を行うと前記設定手段によって設定されている場合であって、前記受信手段が受信したユーザ情報に対応する通知先がある場合に、前記ファクシミリ送信の送信結果を前記通知先に送信することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像通信装置。

【請求項 4】

前記設定手段は、前記記憶手段が記憶している通知先を取得するための条件を設定することを特徴とする請求項 3 に記載の画像通信装置。

【請求項 5】

前記条件としてユーザ名が設定されている場合は、前記ユーザ情報に含まれるユーザ名と一致するユーザ名に紐付けられた通知先が取得されることを特徴とする請求項 4 に記載の画像通信装置。

【請求項 6】

前記条件としてユーザ名及びドメイン名が設定されている場合は、前記ユーザ情報に含まれるユーザ名及びドメイン名と一致するユーザ名及びドメイン名に紐付けられた通知先が取得されることを特徴とする請求項 4 に記載の画像通信装置。

【請求項 7】

前記送信手段は、前記送信結果を前記通知先に電子メールで送信することを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 8】

画像通信装置の制御方法であって、

画像データ、ファクシミリ送信の送信宛先、及びユーザ情報を外部装置から受信する受信工程と、

前記送信宛先に前記画像データのファクシミリ送信を実行する実行工程と、

前記受信工程で前記ユーザ情報を受信する前に、前記ユーザ情報と通知先を対応づけて記憶する記憶工程と、

前記受信工程で受信した前記ユーザ情報に対応する通知先に、前記ファクシミリ送信の送信結果を送信する送信工程とを有し、

前記記憶工程は、さらに、前記実行工程で実行されたファクシミリ送信の送信結果を含む複数の送信履歴を記憶し、

前記送信工程は、前記記憶工程で記憶されている複数の送信履歴のうち、当該ファクシミリ送信のユーザ情報と一致する送信履歴の情報を送信結果として前記通知先に送信することを特徴とする画像通信装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の画像通信装置の制御方法における各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ネットワークを介して情報を送信する画像通信装置、その制御方法、及びプログラムに関するものである。

【背景技術】

【0002】

ネットワークを介してクライアント端末（PC）からファクシミリ装置に対してファクシミリ送信要求を送信し、送信宛先の装置にファクシミリ送信を行うファクシミリ送信システムが存在する。以下では、このようなファクシミリ送信システムにおけるファクシミリ送信を PC FAX 送信と称する。PC FAX 送信の終了時には、ユーザは、ファクシミリ送信を行った画像通信装置からの印刷出力された送信結果レポートを参照し、送信結果を確認することができる。また、ファクシミリ送信結果をクライアント端末で簡単に確認

10

20

30

40

50

できることが重要となっており、その一つの手法として電子メールを用いた送信結果の通知方法がある。

【 0 0 0 3 】

特許文献 1 には、電子メールを用いた送信結果の通知として、外部装置から画像通信装置へ P C F A X 送信の指示を行う場合に、画像データや送信宛先とともに送信結果の通知先を画像通信装置に送信する技術が提案されている。そして、P C F A X 送信が終了すると、送信結果を示す電子メールが受け付けた通知先に送信される。

【先行技術文献】

【特許文献】

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】特開平 1 1 - 4 1 4 0 6 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、上記従来技術には以下に記載する課題がある。例えば、上記従来技術では、P C F A X 送信の指示を行う際に、クライアント端末において送信結果の通知先の宛先を入力することが必要となる。このためユーザにとっては、送信結果を受け取るためにその都度入力操作が必要となり、煩雑な操作体系となっているのが現状である。また、入力時における誤入力により、送信結果を受け取れないという問題もある。

【 0 0 0 6 】

本発明は、上述の問題に鑑みて成されたものであり、外部装置から画像通信装置へ P C F A X 送信の要求を行う際に、送信結果の通知先の宛先入力を必要とすることなくユーザが送信結果を受信可能な仕組みを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 7 】

本発明は、画像通信装置であって、

画像データ、ファクシミリ送信の送信宛先、及びユーザ情報を外部装置から受信する受信手段と、前記送信宛先に前記画像データのファクシミリ送信を実行する実行手段と、前記受信手段が前記ユーザ情報を受信する前に、前記ユーザ情報と通知先を対応づけて記憶する記憶手段と、前記受信手段が受信した前記ユーザ情報に対応する通知先に、前記ファクシミリ送信の送信結果を送信する送信手段を有し、前記記憶手段は、さらに、前記実行手段によって実行されたファクシミリ送信の送信結果を含む複数の送信履歴を記憶し、前記送信手段は、前記記憶手段に記憶されている複数の送信履歴のうち、当該ファクシミリ送信のユーザ情報と一致する送信履歴の情報を送信結果として前記通知先に送信することを特徴とする。

【発明の効果】

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、外部装置から画像通信装置へ P C F A X 送信の要求を行う際に、送信結果の通知先の宛先入力を必要とすることなくユーザが送信結果を受信することができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 9 】

【図 1】一実施形態に係るシステムのネットワーク構成を示す図。

【図 2】一実施形態に係る画像通信装置 1 0 4 の構成例を示すブロック図。

【図 3】一実施形態に係る画像通信装置 1 0 4 にて受信した P C F A X 送信ジョブ情報を示す図。

【図 4】一実施形態に係る画像通信装置 1 0 4 内の送信履歴情報を示す図。

【図 5】一実施形態に係る画像通信装置 1 0 4 内の結果通知先情報を登録する画面を示す図。

【図 6】一実施形態に係る画像通信装置 1 0 4 内の送信結果の通知を行うか否かを設定す

10

20

30

40

50

る設定画面を示す図。

【図 7】一実施形態に係る画像通信装置 104 内の結果通知先の一覧テーブルを示す図。

【図 8】一実施形態に係る送信結果レポートの表示例を示す図。

【図 9】一実施形態に係る画像通信装置 104 の動作を示すフローチャート。

【発明を実施するための形態】

【0010】

以下に本発明の一実施形態を示す。以下で説明される個別の実施形態は、本発明の上位概念、中位概念及び下位概念など種々の概念を理解するために役立つであろう。また、本発明の技術的範囲は、特許請求の範囲によって確立されるのであって、以下の個別の実施形態によって限定されるわけではない。

10

【0011】

< 第 1 の実施形態 >

< システムの構成 >

以下では、本発明の第 1 の実施形態について説明する。まず、図 1 を参照して、本実施形態に係るシステムのネットワーク構成について説明する。図 1 において、ネットワーク 100 には、クライアント端末（外部装置）101、102、103、画像通信装置 104、及びファクシミリ装置 106 が接続される。

【0012】

クライアント端末 101、102、103 は、情報処理装置等のパーソナルコンピュータ（PC）であり、画像通信装置 104 に PC F A X 送信の依頼を行う。画像通信装置 104 は、上記クライアント端末 101、102、103 からの PC F A X 送信依頼を受信し、PC F A X 送信を行うことができる。また、画像通信装置 104 には一般公衆回線である P S T N 回線 105 が接続されており、上記 P S T N 回線 105 を介してファクシミリ装置 106 とファクシミリ通信可能である。

20

【0013】

< 画像通信装置の構成 >

次に、図 2 を参照して、本実施形態に係る画像通信装置 104 の構成について説明する。画像通信装置 104 は、スキャナ装置 201、プリンタ装置 202、操作部表示装置 203、符号化・復号装置 204、ネットワーク制御部 205、システムメモリ 206、ページメモリ 207、システム制御部 208、暗号化装置 209、ファクシミリ制御部 210、及び HDD 211 を備える。

30

【0014】

スキャナ装置 201 は、指定されたモード（例えば、紙サイズ、解像度、濃度等）で原稿をスキャンする読取装置である。プリンタ装置 202 は、画像データに従ってシート等の記録媒体に印刷し、印刷物をフィニッシャー等の排紙装置を介して、排紙トレイに出力する。操作部表示装置 203 は、ユーザが各種設定操作を行う入力部と、装置の動作状態などを表示する表示部を有するユーザインタフェースである。符号化・復号装置 204 は、送信する画情報を符号化して、圧縮する。また、符号化・復号装置 204 は、受信した圧縮データを復号し、元の画情報に復元する。

【0015】

システムメモリ 206 は、S R A M 部及び R O M 部を含んで構成される。ユーザモード情報等、装置に予め登録しておく情報は上記 S R A M 部に格納され、本画像通信装置の制御プログラムは R O M 部に格納される。ページメモリ 207 は、符号化・復号を行う際に 1 ページ分の画情報を展開するメモリ領域である。システム制御部 208 は、本ブロック図内の各制御部や装置や HDD（ハードディスクドライブ）211 等を監視・制御するマイクロコンピュータである。HDD 211 は、不揮発性の記憶媒体であり、受信した文書やスキャンした文書等を格納するものである。

40

【0016】

暗号化装置 209 は、HDD 211 へ画像データを蓄積する際に、上記画像データを暗号化するものである。画像データを非暗号化の状態に蓄積する場合には符号化・復号装置

50

204にて符号化したデータをそのままHDD211に保存する。一方、暗号化にて蓄積する場合には符号化・復号装置204にて符号化したデータをさらに暗号化装置209にて暗号化した後、HDD211に保存する。

【0017】

ネットワーク制御部205は、LANに接続し、他のネットワーク環境下の機器と情報の入出力を行うものである。ファクシミリ制御部210は、PSTN回線105等のファクシミリ回線に接続されており、このPSTN回線105を介して他のファクシミリ装置106と通信可能である。

【0018】

<PCFAX送信ジョブ情報>

次に、図3を参照して、本実施形態に係る画像通信装置104において、クライアント端末から投入されるPCFAX送信指示情報を含むPCFAX送信ジョブ情報について説明する。

【0019】

PCFAX送信ジョブ情報300は、クライアント端末から受信されると、システムメモリ206内のSRAM部に保存される。PCFAX送信ジョブ情報300は、ジョブ名301、ログイン名302、ドメイン名303、通信種別304、ジョブ投入時刻305、ジョブ開始時刻306、回線選択307、相手先情報308、及び文書情報309を含む。

【0020】

ジョブ名301は、クライアント端末から通知されるジョブの名称が設定される。ログイン名302は、クライアント端末にてPCFAX送信ジョブを投入したユーザのログイン名が設定される。例えば、ログイン名302は、クライアント端末へログインしたユーザのログイン名でもよく、PCFAX送信ジョブを投入するために画像通信装置104のドライバを介して画像通信装置104へログインするログイン名でもよい。つまり、ログイン名は、クライアント端末又は画像通信装置104へログインする際のユーザを識別可能なユーザ名であればよい。ドメイン名303は、クライアント端末のドメイン名が設定される。通信種別304は、送信モードを設定するエリアであり、送信、同報送信、タイマー送信、タイマー同報送信のいずれかが設定される。

【0021】

ジョブ投入時刻305は、クライアント端末から投入されたPCFAX送信ジョブを受け付けた時刻が設定される。ジョブ開始時刻306は、クライアント端末から投入されたPCFAX送信ジョブが時刻指定の送信ジョブ、即ちタイマー送信ジョブである場合、送信開始の時刻が設定される。

【0022】

回線選択307は、画像通信装置104が複数回線である場合、送信する送信回線番号が設定される。回線指定を行わない場合には自動が設定される。相手先情報308は、PCFAX送信を行う際の送信宛先情報である相手先番号、相手先名称、ITU-Tコード、ITU-Tパスワードの情報が設定される。文書情報309は、PCFAX送信文書情報である圧縮タイプ、解像度、原稿サイズといった文書属性情報及びHDD211内に一次格納される画像データのアドレスが設定される。

【0023】

図3の例では、PCFAX送信ジョブ情報300として、ジョブ名「test\_a4」、ログイン名「tanaka」、ドメイン名「conon」、通信種別「送信」、及びジョブ投入時刻「2016/6/20 10:46」の情報が設定されている。また、ジョブ開始時刻「無し」、回線選択「自動」、相手先電話番号「0441113333」、相手先名称「R社」、Fコード「無し」、パスワード「無し」、文書符号化タイプ「MMR」、及び文書解像度「200dpi」の情報が設定されている。さらに、文書原稿サイズ「A4」、及び文書格納先アドレス「0x10000」の情報が設定されている。

【0024】

10

20

30

40

50

#### < 送信履歴の管理テーブル >

次に、図 4 を参照して、本実施形態に係る画像通信装置 104 のファクシミリ送信履歴を管理する管理テーブルについて説明する。ファクシミリ送信履歴の管理テーブル 400 は、HDD 211 内に保持されており、1 通信毎に以下に示すファクシミリ送信情報を送信履歴情報として格納する。1 つの送信履歴情報は、ログイン名 401、送信日時 402、通信時間 403、相手先名称 404、相手先アドレス 405、識別番号 406、通信モード 407、枚数 408、及びエラーコード 409 を含む。なお、管理テーブル 400 で管理するファクシミリ送信情報は、PCFAX 送信を含む全ての種類のファクシミリ送信の情報である。

#### 【0025】

ログイン名 401 には、ジョブ投入者のユーザ情報であるログイン名が格納される。本 PCFAX 送信時には PCFAX 送信ジョブ情報 300 内のログイン名 302 が格納される。送信日時 402 には、通信開始時刻が格納される。通信時間 403 には、ファクシミリ通信時間が秒で格納される。相手先名称 404 には、相手先の名称情報が格納され、相手先アドレス 405 には相手先の電話番号が格納される。PCFAX 送信時には、相手先名称 404 には、PCFAX 送信ジョブ情報 300 内の相手先情報 308 の相手先名称が、そして相手先アドレス 405 には PCFAX 送信ジョブ情報 300 内の相手先情報 308 の相手先番号が格納される。

#### 【0026】

識別番号 406 には、1 ジョブごとに割り当てられるジョブ識別番号が格納される。通信モード 407 には、送信、同報送信、ダイレクト送信、タイマー送信、及び PCFAX 送信等の通信モードが格納される。枚数 408 には、通信したページ数が格納される。通信結果 409 には、正常終了時には 0 が、異常終了時にはエラーコード番号が格納される。

#### 【0027】

図 4 に示す管理テーブル 400 では、PCFAX 送信履歴として、例えば通信履歴 410 が格納されている。通信履歴 410 には、例えば、ログイン名「tanaka」、送信日時「2016/6/20 10:46」、通信時間「40」、相手先名称「R 社」、及び相手先アドレス「0441113333」が設定されている。さらに、通信履歴 410 には、識別番号「0018」、通信モード「PCFAX 送信」、枚数「1」、及びエラーコード「0」が設定されている。管理テーブル 400 には、複数の他の通信履歴も格納されている。

#### 【0028】

##### < 通知先登録画面 >

次に、図 5 を参照して、画像通信装置 104 において、ユーザモード設定で結果通知先情報を登録する画面について説明する。ユーザモード設定とは、画像通信装置の各種機能設定、登録をユーザ操作に従って行うものであり、転送送信設定、宛先表設定、レポート印刷設定といった様々な設定、登録を行うことができる。図 5 に示すように、結果通知先の登録画面 500 が操作部表示装置 203 に提供されて表示される。

#### 【0029】

結果通知先の登録画面 500 では以下の設定を行うことができる。ユーザ名 501 は、送信ジョブ依頼者のユーザ情報であるユーザログイン名をユーザ入力に従って設定する領域である。ドメイン名 502 は、送信ジョブ依頼者のクライアント端末のドメイン名をユーザ入力に従って設定する領域である。結果通知先アドレス 503 は、送信終了時に送信結果を電子メールにて送信する送信先の電子メールアドレス情報を設定する領域である。図 5 に示す例では、結果通知先の登録画面 500 において、ユーザ名「tanaka」、ドメイン名「conon」、結果通知先アドレス「tanaka@conon.co.jp」を設定している。

#### 【0030】

最後に、「OK」ボタン 505 を押下することにより、上記結果通知先情報を後述する

10

20

30

40

50

結果通知先一覧テーブルに登録した後、本画面の表示を終了する。また、「キャンセル」ボタン504を押下することにより、上記結果通知先の登録を行うことなく、本画面の表示を終了する。

#### 【0031】

##### < 選択画面 >

次に、図6を参照して、画像通信装置104において、ユーザモード設定で、送信終了時に送信結果の通知を行うか否かを選択する選択画面について説明する。図6に示すように、選択画面600が操作部表示装置203に表示される。

#### 【0032】

選択画面600ではユーザ入力に従って以下の設定を行うことができる。送信結果通知601は、送信終了時に送信結果を通知するか否かを設定する領域である。本画面にて「する」を設定することにより送信結果通知機能が有効になり、送信終了時に検索条件に一致する結果通知先に送信結果を送信する。また、「しない」を設定することにより送信結果通知機能が無効となり、結果通知は行わない。

#### 【0033】

そして、上記送信結果通知機能が有効に設定されている場合には、検索条件602が設定可能となる。検索条件602はPCFAX送信時にクライアント端末から通知された送信ジョブ情報の何を検索条件とするかを指定する領域である。検索条件としては「ログイン名」、「ログイン名+ドメイン名」を設定可能である。「ログイン名」を設定した場合、クライアント端末から通知されたログイン名302（ユーザ名）に一致するログイン名に紐付けられた結果通知先を後述する結果通知先一覧テーブルから検索する。一方、「ログイン名+ドメイン名」を設定した場合、クライアント端末から通知されたログイン名302、及びドメイン名303に一致するログイン名及びドメイン名に紐付けられた結果通知先を後述する結果通知先一覧テーブルから検索する。ここでは、ログイン名302及びドメイン名303の両方が一致する結果通知先を後述する結果通知先一覧テーブルから検索するようにしているが、何れか一方が一致する結果通知先を検索するようにしてもよい。

#### 【0034】

最後に、「OK」ボタン604を押下することにより、上記送信結果通知の設定をシステムメモリ206内のSRAM部に保存した後、本画面の表示を終了する。また、「キャンセル」ボタン603を押下することにより、上記送信結果通知の設定を保存することなく、本画面の表示を終了する。

#### 【0035】

##### < 結果通知先一覧テーブル >

次に、図7を参照して、上記登録画面500で設定した複数の結果通知先の一覧である結果通知先の一覧テーブル700について説明する。一覧テーブル700はHDD211に格納されている。

#### 【0036】

ログイン名701には、上記登録画面500にてユーザが設定したユーザ名501が格納される。同様に、ドメイン名702には、ドメイン名502が格納される。同様に、結果通知先アドレス703には、結果通知先アドレス503が格納されている。

#### 【0037】

一覧テーブル700には、例えば、結果通知先情報705として、ログイン名「tanaka」、ドメイン名「conon」、及び結果通知先アドレス「tanaka@conon.co.jp」が紐付けて格納されている。なお、図7に示す一覧テーブル700には、複数の他の結果通知先情報が格納されている。

#### 【0038】

##### < 送信結果レポート >

次に、図8を参照して、電子メールで送信される送信結果レポートの表示例について説明する。図8に示す例では、ログイン名「tanaka」のユーザが外部装置から画像通

10

20

30

40

50

信装置へ P C F A X 送信を指示した場合の送信結果レポート 8 0 0 を示す。

【 0 0 3 9 】

上記 P C F A X 送信結果は管理テーブル 4 0 0 の識別番号 4 0 6 が「 0 0 1 8 」の通信履歴である。受付番号 8 0 1 は、ジョブごとに割り当てられるジョブ識別番号であり、本表示例において、識別番号 4 0 6 の「 0 0 1 8 」が表示される。開始時刻 8 0 2 は、通信開始時刻であり、本表示例において、送信日時 4 0 2 の「 2 0 1 6 / 6 / 2 0 1 0 : 4 6 」が表示される。

【 0 0 4 0 】

ページ数 8 0 3 は送信ページ数であり、本表示例において、枚数 4 0 9 の「 1 」が表示される。通信結果 8 0 4 は未送信宛先、正常終了宛先、エラー終了宛先に分けて表示される。相手に繋がらず終了した場合には未送信相手先に、正常終了時には終了相手先に、エラー終了時にはエラー相手先にそれぞれ相手先電話番号を表示する。

10

【 0 0 4 1 】

本表示例において、識別番号 4 0 6 が「 0 0 1 8 」である通信履歴のエラーコード 4 0 9 は、「 0 」が保持され、即ち正常終了であることを示すため、終了相手先の欄に相手先アドレス 4 0 5 の「 0 4 4 1 1 1 3 3 3 3 」が表示される。また、未送信相手先、エラー相手先には該当する情報が無いことを意味する「 - - - - 」が表示される。

【 0 0 4 2 】

< 処理手順 >

次に、図 9 のフローチャートを参照して、本実施形態に係る処理手順について説明する。以下で説明する処理は、例えばシステムメモリ 2 0 6 内の R O M 部に予め格納された制御プログラムをシステム制御部 2 0 8 が読み出して統括的に実行することにより実現される。本フローチャートは、画像通信装置 1 0 4 が P C F A X 送信を受け付けた際に、P C F A X 送信を実行し、クライアント端末から通知されたユーザ情報に一致する結果通知先に送信結果レポートを送信する際の処理手順を示す。

20

【 0 0 4 3 】

S (ステップ) 9 0 1 で、ネットワーク制御部 2 0 5 は、ネットワーク 1 0 0 を介してクライアント端末 1 0 1 から通知される P C F A X 送信ジョブ情報 3 0 0 を受信し、システムメモリ 2 0 6 内の S R A M 部に保存する。そして同時にファクシミリ送信画像を受信し、H D D 2 1 1 内に保存する。

30

【 0 0 4 4 】

次に、S 9 0 2 で、ファクシミリ制御部 2 1 0 は、上記 S 9 0 1 で取得した P C F A X 送信ジョブ情報 3 0 0 に含まれる相手先情報 3 0 8 に従って発呼を行い通信を確立する。通信が確立すると、ファクシミリ制御部 2 1 0 は、H D D 2 1 1 に蓄積された送信画像データを P S T N 回線 1 0 5 を介して、送信先のファクシミリ装置 1 0 6 へ送信する。続いて、S 9 0 3 で、ファクシミリ制御部 2 1 0 は、ファクシミリ送信の終了を監視する。そして、送信終了した場合、S 9 0 4 へ移行する。

【 0 0 4 5 】

次に、S 9 0 4 で、ファクシミリ制御部 2 1 0 は、システムメモリ 2 0 6 内の S R A M 部に保存されているユーザモード設定で選択画面 6 0 0 を介して設定された情報を参照し、送信結果通知 6 0 1 のする / しないの情報を取得する。そして、送信結果通知 6 0 1 が「する」の場合にはさらに検索条件 6 0 2 を取得し、S 9 0 5 へ移行する。また、送信結果通知 6 0 1 が「しない」の場合には本フローチャートの処理を終了する。

40

【 0 0 4 6 】

次に、S 9 0 5 で、ファクシミリ制御部 2 1 0 は、上記 S 9 0 1 で取得した P C F A X 送信ジョブ情報 3 0 0 内のログイン名 3 0 2 を参照し、クライアント端末からログイン名が通知されている場合には S 9 0 6 へ移行する。また、通知されていない場合には本フローチャートの処理を終了する。また、ここでは、上記選択画面 6 0 0 で選択された検索条件 6 0 2 がログイン名及びドメイン名である場合にはクライアント端末からログイン名及びドメイン名が通知されているか否かを判断することになる。つまり、ここでは、現在ユ

50



ーザ設定されている一覧テーブル700の検索条件として必要なユーザ情報がクライアント端末から通知されているか否かを判断している。

【0047】

次に、S906で、ファクシミリ制御部210は、ユーザモード設定の検索条件602を参照し、上記検索条件に従ってジョブ情報に合致する結果通知先があるかを一覧テーブル700より検索する。より詳細には、検索条件602が「ログイン名」である場合は、検索条件としてはクライアント端末から通知されるログイン名302と、一覧テーブル700のログイン名701とが一致する結果通知先情報があるか否かをチェックする。例えば、クライアント端末から通知されるログイン名302が「tanaka」である場合、一覧テーブル700内の結果通知先情報705のログイン名701「tanaka」が一致する。

10

【0048】

検索条件602が「ログイン名+ドメイン名」であれば、ファクシミリ制御部210は、検索条件としてはログイン名302とログイン名701とが一致し、かつ、ドメイン名303とドメイン名702とが一致する結果通知先情報があるか否かをチェックする。例えば、クライアント端末から通知されるログイン名302が「tanaka」、ドメイン名303が「conon」である場合、結果通知先情報705のログイン名701「tanaka」及びドメイン名「conon」が一致する。しかし、ドメイン名303が「conon2」である場合は、一覧テーブル700で一致する結果通知先情報はない。

【0049】

20

上記一覧テーブル700で一致する結果通知先情報がある場合にはS907に移行する。また、一致しない場合には本フローチャートの処理を終了する。続いて、S907で、ファクシミリ制御部210は、クライアント端末から通知されるログイン名302及びドメイン名に一致する結果通知先アドレスを一覧テーブル700から取得し、S908へ移行する。例えば、クライアント端末から通知されるログイン名302が「tanaka」、ドメイン名303が「conon」である場合、結果通知先情報705の結果通知先アドレスは「tanaka@conon.co.jp」を取得する。

【0050】

次に、S908で、ファクシミリ制御部210は、管理テーブル400内の送信結果より、上記S907で取得した結果通知先のアドレスに送信する送信結果レポートを作成する。例えば、クライアント端末から通知されるログイン名302「tanaka」のPCFAX送信した場合、PCFAX送信ジョブの通信履歴は管理テーブル400内のログイン名401が「tanaka」の履歴に相当する。この場合、受付番号801は識別番号406の「0018」、開始時刻802は送信日時402の「2016/6/20 10:46」、ページ数803は枚数409の「1」、通信結果804はエラーコード409の「0」を示す送信結果レポートが作成される。エラーコード409が「0」であるため、正常終了したことを示す。

30

【0051】

次に、S909で、上記S907で取得した結果通知先アドレスに上記S908で作成した送信結果レポートを送るために、ファクシミリ制御部210は、ネットワーク制御部205を介して電子メール送信指示を行う。送信される電子メールにおいては、例えば「To」フィールドには結果通知先アドレスである「tanaka@conon.co.jp」が設定される。また、「subject」フィールドには、送信結果レポート及び受付番号を示す「送信結果レポート0016」が設定される。また、メール本文には、上記S908で作成したテキストデータからなる電子メールが設定される。

40

【0052】

以上説明したように、本画像通信装置は、画像データ、ファクシミリ送信の送信宛先、及びユーザ情報を含む、ファクシミリ送信の指示をクライアント端末である外部装置から受け付け、指示された送信宛先に対して画像データのファクシミリ送信を実行する。また、本画像通信装置は、HDD211等に予め記憶されたテーブルであって、実行されたフ

50

ファクシミリ送信の送信結果を通知する複数の通知先を登録したテーブルから、指示に含まれるユーザ情報を用いて該当する通知先を検索する。さらに、本画像通信装置は、ユーザ情報に該当する通知先が検索されると、ファクシミリ送信の送信結果を検索された通知先に送信する。このように、本実施形態によれば、画像通信装置に対してジョブを発行する外部装置において、ユーザは送信結果の通知先を都度設定する必要が無く、誤入力による送信結果の誤送信を防ぐことができるとともに、ユーザの操作負荷を低減することができる。

#### 【 0 0 5 3 】

本発明は上記実施形態に限らず様々な変形が可能である。例えば、上記実施形態で説明した一覧テーブル 7 0 0 は画像通信装置 1 0 4 に保存されることに限るものではなく、ネットワーク上のサーバ、ストレージに保存されてもよい。また、上記実施形態で説明した結果通知先アドレスをネットワーク上の認証サーバから取得してもよい。詳細にはネットワーク上の認証サーバに対してログイン名 3 0 2 を含むユーザ情報を通知する。そして、認証サーバはユーザ情報に一致するメールアドレスを画像通信装置 1 0 4 へ送信する。画像通信装置 1 0 4 は、受信したメールアドレスを結果通知先アドレスに設定し、送信結果レポートを送信する。

#### 【 0 0 5 4 】

< その他の実施形態 >

本発明は、上述の実施形態の 1 以上の機能を実現するプログラムを、ネットワーク又は記憶媒体を介してシステム又は装置に供給し、そのシステム又は装置のコンピュータにおける 1 つ以上のプロセッサがプログラムを読み出し実行する処理でも実現可能である。また、1 以上の機能を実現する回路（例えば、ASIC）によっても実現可能である。

#### 【 符号の説明 】

#### 【 0 0 5 5 】

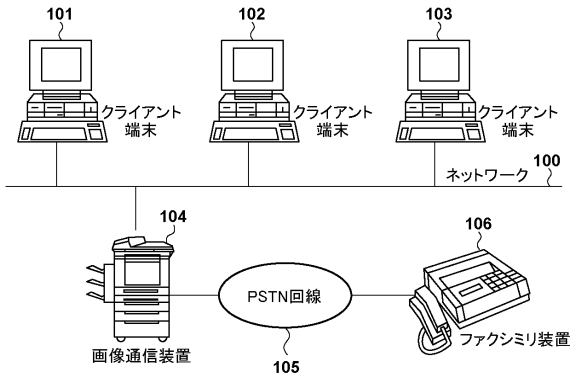
1 0 0 : ネットワーク、1 0 1 : クライアント端末、1 0 2 : クライアント端末、1 0 3 : クライアント端末、1 0 4 : 画像通信装置、1 0 5 : P S T N 回線、1 0 6 : ファクシミリ装置、2 0 1 : スキャナ装置、2 0 2 : プリンタ装置、2 0 3 : 操作部表示装置、2 0 4 : 符号化・復号装置、2 0 5 : ネットワーク制御部、2 0 6 : システムメモリ、2 0 7 : ページメモリ、2 0 8 : システム制御部、2 0 9 : 暗号化装置、2 1 0 : ファクシミリ制御部、2 1 1 : H D D、2 1 2 : バス

10

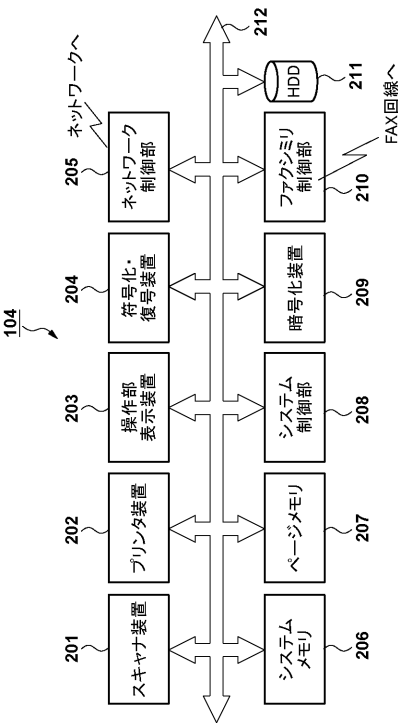
20

30

【図 1】



【図 2】



【図 3】

300		
301	ジョブ名	test_a4
302	ログイン名	tanaka
303	ドメイン名	conon
304	通信種別	送信
305	ジョブ投入時刻	2016.06.20 10:46
306	ジョブ開始時刻	無し
307	回線選択	自動
308	相手先情報	相手先番号 0441113333
		相手先名称 R社
		Fコード 無し
		パスワード 無し
309	文書情報	符号化タイプ MMR
		解像度 200dpi
		用紙サイズ A4
		格納先アドレス 0x10000

【図 4】

401	400	402	403	404	405	406	407	408	409
ログイン名	送信日時	通信 時間	相手先名称	相手先アドレス	識別番号	通信モード	枚数	エラーコード	
uchida	2016/6/19 13:10	20	A社	0441112222	0001	送信	1	0	
katou	2016/6/19 14:15	22	B社	0441113333	0002	送信	1	0	
arai	2016/6/19 15:20	20	C社	0441114444	0003	送信	1	0	
inoue	2016/6/19 16:25	21	D社	0441110001	0004	送信	1	10755	
uchida	2016/6/19 17:30	24	E社	0441110002	0005	送信	1	0	
kimura	2016/6/19 18:35	57	F社	0441110003	0006	送信	3	0	
uchida	2016/6/19 19:40	55	G社	0441110004	0007	送信	3	0	
	2016/6/19 20:45	55	H社	0441110005	0008	送信	3	0	
sasaki	2016/6/19 21:50	58	I社	0441110006	0009	送信	3	0	
yamada	2016/6/19 22:55	55	J社	0441110007	0010	送信	3	0	
nagai	2016/6/20 3:07	55	K社	0441110008	0011	送信	3	0	
nagano	2016/6/20 4:08	40	L社	0441110009	0012	送信	2	10755	
sasaki	2016/6/20 5:09	55	M社	0441110010	0013	PCFAX送信	3	0	
	2016/6/20 6:10	55	N社	0441110011	0014	送信	3	0	
katou	2016/6/20 7:11	55	O社	0441110012	0015	送信	3	0	
ishii	2016/6/20 8:22	60	P社	0441110013	0016	送信	3	10755	
	2016/6/20 9:33	18	Q社	0441118888	0017	送信	1	0	
tanaka	2016/6/20 10:46	22	R社	0441113333	0018	PCFAX送信	1	0	

【図 5】

500

結果通知先の登録

501 ユーザ名 tanaka

502 ドメイン名 conon

503 結果通知先アドレス tanaka@conon.co.jp

504 キャンセル

505 OK

【図 7】

700	701	702	703
	ログイン名	ドメイン名	結果通知先アドレス
705	tanaka	conon	tanaka@conon.co.jp
	sasaki	conon	sasaki@conon.co.jp
	yamada	conon	yamada@conon.co.jp
	suzuki	conon	suzuki@conon.co.jp
	ishii	conon	ishii@conon.co.jp
	ueno	conon	ueno@conon.co.jp
	kimura	conon	kimura@conon.co.jp
	satou	conon	satou@conon.co.jp
	itou	conon	itou@conon.co.jp
	katou	conon	katou@conon.co.jp
	hayashi	conon	hayashi@conon.co.jp
	shimizu	conon	shimizu@conon.co.jp
	mori	conon	mori@conon.co.jp

【図 6】

601

600

送信結果通知 ☒ する ☐ しない

検索条件 ログイン名

603 キャンセル

602

604 OK

【図 8】

800

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\* ファクス送信結果 \*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

801 受付番号 0018

802 開始時刻 06/20 10:46

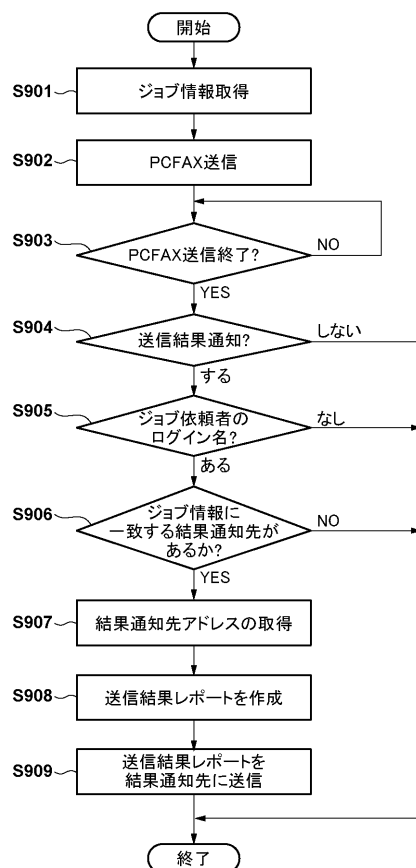
803 ページ数 1

804 未送信相手先 -----

終了相手先 0441113333

エラー相手先 -----

【図 9】



---

フロントページの続き

(56)参考文献 特開 2 0 0 4 - 0 4 8 1 6 5 ( J P , A )  
特開 2 0 1 6 - 2 1 3 7 5 8 ( J P , A )  
特開 2 0 0 6 - 1 4 8 7 1 2 ( J P , A )  
特開 2 0 1 7 - 0 1 7 4 5 6 ( J P , A )  
特開 2 0 1 5 - 1 0 6 7 6 4 ( J P , A )

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

H 0 4 N	1 / 0 0
G 0 6 F	3 / 1 2
H 0 4 N	1 / 3 2